

● 森の中。影、氷、隠、色が遊んでいる。

● 氷、隠、色が歌っている。

かーごめ、かごめ

かーごのなかのとりーは

いついつでやーる

よーあーけーの

ばーんーに

つーるとかーめが

すーべったー

うしろのしょうめん

だーあれ

かーごめ、かごめ

かーごのなかのとりーは

いついつでやーる

よーあーけーの

ばーんーに

つーるとかーめが

すーべったー

うしろのしょうめん

だーあれ

かーごめ、かごめ

かーごのなかのとりーは

いついつでやーる

よーあーけーの

ばーんーに

つーるとかーめが

すーべったー

うしろのしょうめん
だーあれ

：氷 こおり

えっ：

なんでわかったの？

足音に落ち着きがないから
すぐわかる

お姉ちゃん：

えい
影ちゃんに張り合おうとすると
いつもそうだよね：

雑魚

まるで

犬みたいだよ：

い、犬扱いするなあ

じゃあ雑魚の犬

雑魚言うなあ

色様しきあ：

偉えいそうな影に

何か言って下さいよ

実際偉いからね

アタシ、神職の一人娘

巫女様だし

はあ？

色様しきは里長の娘だし

色様しきの方が

偉いに決まつてるじゃん

これ

勝手に儂と

争あわせるでない

はあ：

そろそろ帰るぞ

今晚きとうも祈祷がある

●歩き始める四人。

あゝあ

座りっぱなしで

脚痛くなるのやだ

アンタ達はマシでしょ
アタシなんか毎回
舞を躍らせられるし

はやりやまい
流行病は

広がる一方じゃからな
老人連中は命惜しさに

やつき
神頼みで躍起なのじゃよ

でも、昔話とかでも
一途に祈れば神様が
奇跡を授けてくれるよね？

きつと素敵な殿方の姿で現れて
颯爽と皆を救ってくださるんだ…

かくれ
隠、アンタ

本当乙女だよね

口説かれても
簡単に着いていくでないぞ

悪い男に騙されそゝ

っ…、いいもん

運命の出会いはあるんだから

えい
影の家系は

神様の血が流れてるんだよね？
直接お願いとか出来ないのゝ？

夢枕とかはあったけど
ゆめまくら

そんな自由に意思疎通が
いしそつう

できる訳じゃないから

なんだ

巫女っていつでも

そんな程度なんだあ

ちよつと色
しき

アンタのこの犬

五月蠅いんだけど
うるさ

よく吠えるのが

取り柄じゃ

ゝっ

だから

犬扱いするなあ

●場面転換。影の家。
えい

影、入るぞ
えい

お疲れじゃ

見事な舞じやったぞ

もう辞めたい

お主の務めじゃろう
それぐらい我慢してくれ

はあ…

外部の医者を呼んで
観て貰えばいいのに
つてのが本音

ここは閉鎖的な里じゃ
特に医者などは
伝統的な信仰を揺るがしかねん

頭雑魚過ぎ
馬鹿ばっか

年寄りとは
そういうものじゃ

新しいモノを
生理的に遠ざける

アンタも年寄りみたいな
喋り方しないだよ

昔から言ってるじゃろう
これは癖じゃ
祖母や母上のが移った

はは…そうだった

そういえば
鬼が交渉を持ちかけてきたって

聞いたけど…

ああ…

はやりやまい
流行病を解決する代わりに

生贄でも要求してきた？

うかが
母上からはそう伺っておる

その生贄…

どうせアタシでしょ

…

そりゃあ鬼からしたら
神職の血は邪魔だろうね
結界を作れるのも
アタシだけだし

それで…

どうするの？

どうする…とは？

この里の重要事項は
里長であるアンタの
祖母が取り仕切る決まり

アタシに

選択権はないから

っ…すまぬ

いいよ別に

わかってた

あ：ちよつとごめん

餌の時間

●金魚鉢をつつく影。
金魚に餌をやる。

よーし：食べな〜

見てよ色

この子達も

随分大きくなった

出店で掬った金魚か

お主も好きじゃのう

なんだか：

アタシみたいだ

この子達も

狭い金魚鉢から

逃げられない運命なんだ

：決まったわけではない

そやつらだって川に放せばよい

こんな派手で目立つ小魚が

一人で生きられると思う？

ます
こい
鱒や鯉からしたら

雑魚だよ

こんな小魚

食べられて終わり

お主は…

死ねと言われたら
死ぬのか？

それ以外に無いでしょ

…っ

では、一人では生きられぬとしても
二人ならどうじゃ…？

は…？

しき
色、アンタ何言ってるの？

農も里を抜け出す
それなら…

本気…？

善は急げじゃ
早速準備を整えて
逃げるぞ
よいな？

いいの…？

見つければ

アンタもタダじゃすまない

じゃろうな

じゃが

親友を見殺しにする
理由にもならん

はあ：

子供二人で逃避行かあ

不服か？

いや、上等だね

ありがと：

色しき

ありがと：っ

●時間経過。夜。燃え盛る火の音。

●縄で縛られた影。えい

っ：

はあ：っ、はーっ

なんで：っ

一緒に：行ってくて

見殺しに…しないって

言ってくれたのに…っ

色…しきどうしてっ

●振り下ろされる刃が影えいの体を貫く。

がつ…ぐ、あ…、あああ

はあ…、はあ…っ

ああ…

アタシの血

こんな…真っ赤なんだ

はは…

あの子達、みたい…

やっぱり…

逃げられ、ないね

死にたく、ないなあ